

## 川口けいすけの一般質問

# 地酒による乾杯を推進する条例の制定を!



### こんなに強力なアイテムはない

皆さん、川越にどんな地酒があるかご存知ですか?あるんです!日本酒・ビール・焼酎!しかも、知ると飲みたくなるようなものでした。

例えば、「鏡山」という日本酒。100年以上前からあるブランドですが、その中に埼玉県初の酒米「さけ武蔵」を使用した100%川越産の酒や、世界最大のビールコンテストで日本初の金賞をとった「COEDOビール紅赤」、川越芋を100%使用した焼酎「富の紅赤」など、魅力的

なお酒がいくつもあります。

今回の一般質問で、私は地酒による乾杯を推進する条例の制定を求めましたが、条例化で、この地酒達がどんな効果をもたらす事でしょう。

地酒の消費が増えるということは、酒造業だけではなく、小売・飲食業、原材料が川越産なら農業振興にもなります。また、飲酒は通常夜であることが多く、観光客の滞在時間延長や、地域の活性化、国内外へのイメージアップにもつながります。

世の中には数多くものがありますが、『酒』ほど強力なアイテムはないのではないのでしょうか!

# 屋根貸し事業で避難所の災害時電力を無料で確保!

### 屋根貸し事業とは

市有施設の屋根を太陽光発電事業者に貸す事業で、再生可能エネルギーの普及拡大を図り、当初は家賃収入も見込めるという事業でした。25年12月議会の一般質問で提言をした時に、市が挙げたメリットもこうしたものでした。

しかし、私は当時から業者との契約条件に災害時の電力供給を入れることで、災害時に学校など避難所の電力を確保出来ることが最大のメリットであると訴えていました。これは他の多くの自治体でも同様であったと思います。

(詳細はグリーンズ川越55号に掲載)

### 川越市では2年以上進展なし



現在県内12の市町で事業が行われ、この全てが無料で災害時の電力供給契約を行っています。

災害時に、太陽光による電力を避難所で利用するには蓄電池が欠かせませんが、1基2500万円程の設置費用がかかる蓄電池を各避難所に市費で設置することは困難です。だからこそ多くの自治体はこの事業に取り組んでいるのだと思います。川越市には今年度、国の100%補助により2基の設置予定があるのみです。市は、今回の答弁でようやく設置可能施設を調査すると答えましたが、私は万々に備えて1日も早い事業化を強く求めています!



# 健康経営で健康寿命UP→医療費削減を!

健康経営とは、企業や自治体が、従業員や住民の健康を重要な経営資源と捉え、健康管理や健康づくりのために戦略的に投資・実践する取り組みです。これにより企業や自治体イメージの向上、医療費の削減等が期待されています。健康経営の考え方では個人に任せず企業や自治体が積極的に関与します。自治体では、松本市や高石市で具体的な取り組みが始まっています。

川越市の事業は、計画書を作り、スローガンを掲げ、広報やホームページでそれを発表したところで息切れをし、残念なことに具体的な取り組みは、良い企画でも一部の人だけが参加して終わっています。

川越市でも健康経営の考え方に沿ったまちづくりをすることで、市民の健康寿命を延ばし、医療費の削減を目指すべきと、市長の見解を聞きましたが、市長は、今の取り組みを引き続き行うと答えました。

掲示板

### 第32回川口けいすけ議会報告会

日時: 4月11日(土) 13時30分~17時00分  
場所: 古谷公民館2F和室(049-235-1834)  
内容: 3月議会報告、任期総括、皆様からのご意見等  
☆ この報告会は後援会の集まりではありません。  
どなたでもお気軽に、直接会場にお越し下さい。



